



おまち

Vol. 89

2015. 5. 1 (隔月1回1日発行) 編集発行：群馬県県土整備部都市計画課まちづくり室(企画推進係)



特集

花のまちづくり～花と湯の町なかのじょう～

ガーデンデザイナー吉谷桂子先生監修による「花のパレットガーデン」
(メイン会場 花の駅「美野原」で御覧いただけます。)



高さ3m・幅7mの大きな壁面花壇
(メイン会場「中心市街地会場JR中之条駅北口」で御覧いただけます。)



ハンギングバスケットコンテスト作品
(メイン会場「中心市街地会場 つむじ」で御覧いただけます。)

知事賞受賞作品



【投稿】 **アート空間をまちなかに創造する！～アートがまちを元気にする～**

【連載】 観光まちづくり最前線 地域を歩くレポート No.7

子どもの目線で地域を知ること・地域を観ること・地域を思うこと
～少子高齢化時代に、こどもはまちづくりの貴重な戦力・担い手に…

【トピックス】 **先進商業まちづくり講座-集客力がアップする町と店の魅力づくり-に参加しました**

マーチィ'sROOM

- マーチィに訊け まちづくりライブラリーからおすすめの一冊
- マーチィ VOICE ファシリテーター紹介
- マーチィの掲示板 県・市町村人事交流を終えて・・・

【まちづくりイベント情報】

- 県内で行われるイベントの紹介
- マーチィの独り言 編集後記



花のまちづくり ～花と湯の町なかのじょう～

中之条町 農林課

中之条町は今年度、町制施行60周年・六合村との合併5周年を迎え、「花と湯の町なかのじょう」をキャッチフレーズに町民総参加による花のまちづくりを推進しております。

活動内容の具体例を挙げると、「花の駅 美野原」から「花の駅 花楽の里」までの20kmを「花桃街道」と位置づけ、行政区やボランティアの方々により、この2年間で11,000本を植栽いたします。

また「花の駅 美野原」の周辺道路10kmの美野原土地改良区では、農村公園としての美化活動に取り組んでおり、農家や地域の自治会などのメンバーを中心として、道路脇にスイセンを植えています。



【花桃街道】



【スイセン街道】

花と緑のぐんまづくり 2015in 中之条 開催中



～ふるさとキラキラフェスティバル～

今回のふるさとキラキラフェスティバルでも、管内の保育所や幼稚園児に、お絵かき花壇を作ってもらったり、小・中学生全員参加のプランターづくりを行っているだけでなく、メイン会場にある直径25mのふれあい花壇の植栽や花壇整備などを、たくさんのボランティアスタッフの方々の御協力により運営しております。



【花の駅 美野原 お絵かき花壇】



【ボランティアの皆さんによる大花壇整備】

平成27年4月18日に、オープニングセレモニーを開催致しました。

当日は満開の花桃と桜をバックに、大澤知事や中之条町の伊能町長をはじめとした主催者と、小淵優子衆議院議員など御来賓の方々による、テープカットを行いました。



フェスティバルは5月31日まで開催しています。(メイン会場・サテライト会場は入場無料)

イベントの特色

- ・メイン会場では、四万温泉から運んだ足湯につかりながら、菜の花畑を眺められ、来訪者の身も心も癒します。
(温泉) ※ 5/17 までの土日祝日に開催。
- ・花の駅美野原では、町民参加で植栽した大花壇がお出迎え。(町民参加・芸術)
アートを取り入れた飾花でおもてなします。(芸術)
- ・中心市街地を中之条の子供達が育てた花で彩ります。(町民参加・花育)



会場へは自家用車のほか、無料のシャトルバスもご利用頂けます。

4/18(土)~5/31(日)の土・日・祝日(1日7往復)			
始発 JR中之条駅 9:30発 ~ 最終 JR中之条駅 16:20着			
	JR中之条駅	つむじ	花の駅「美野原」
行き	毎時30分発	40分発	(50分発)
帰り	(20分発)	10分発	毎時00分発



イベントの一部を紹介します。

〔花緑体験教室〕

花の駅「美野原」会場

中心市街地会場

日にち	教室名	時間	参加費	定員	場所	備考
4/18(土)、5/1(金)、18(月)	コンテナガーデンづくり	10:30~12:00	1,500円	各日30名	ハーブ館テラス	事前予約要
4/23(木)、30(木)、5/31(日)	フラワーアレンジメント	13:00~15:00	2,000円	各日15名	花みどり館1F	事前予約要
5/10(日)	花のコースターづくり	13:30~15:00	300円	50名	花みどり館1F	当日受付
5/14(木)	ハンギングバスケット	13:00~15:00	2,000円	20名	花みどり館1F	事前予約要
5/14(木)、21(木)、28(木)	手作り花手紙教室	13:30~15:00	300円	各日50名	花みどり館1F (5/14は福寿館1F)	当日受付

日にち	教室名	時間	参加費	定員	場所	備考
5/9(土) 5/10(日)	まゆクラブ体験	10:00~16:00	無料	各日200名	つむじ会場	当日受付
5/17(日)	初めてでもできる 簡単こけ玉づくり	①10:00~11:30 ②13:00~14:30	800円	①15名 ②15名	林昌寺前会場 (盛会第二駐車場)	当日受付
5/24(日)	香りの 花束づくり	①10:00~11:30 ②13:00~14:30	500円	①15名 ②15名	林昌寺前会場 (盛会第二駐車場)	当日受付

詳しくはこちらまで…

花と緑のぐんまづくり 検索

<http://hanatomidori.net/>

春の中之条へ、ぜひお越しください。





アート空間をまちなかに創造する！ ～アートがまちを元気にする～

中之条町 観光商工課

中之条町は新潟県と長野県に接する県境の町。人口約17,000人の小さな町で、観光の大きな柱は四万温泉をはじめとした町内に点在する温泉資源です。近年、この温泉資源とならび、沢山の観光客を集めているのが、アートイベント「中之条ビエンナーレ」です。「ビエンナーレ」とは、イタリア語で「2年に1度」という意味で、その意味通り2年に1度開催される、町全体を舞台にしたアートイベントです。

第1回目が開催された2007年から前回2013年までに4回開催され、2013年の開催では、1ヶ月間の会期中に約34万人の方が来場されました。近年では、様々な都市でアートを活用したイベントやまちづくりが行われていますが、多くのお客様が「中之条ビエンナーレ」を選び、都心から遠く離れたこの地を訪れる理由はどこにあるのでしょうか。



■商店街のシャッターに絵を描くアーティスト

この「中之条ビエンナーレ」は、国内外から100名以上のアーティストが集結し、自らが気に入った場所で作品を展示します。町の中心部に位置する交流施設「ふるさと交流センター つむじ」など現在使われている施設にも展示を行います。一方で古い木造校舎や酒蔵の跡地、商店街の空き店舗など今は使用されなくなった施設や場所にも焦点をあててアート作品を展示しています。アーティストが中之条町を訪れ、作品制作の過程で町の歴史を知ったり、町の人と交流したりすることで、様々な化学反応が生まれています。

地元住民にとってこの2年に1度のお祭りは、スタッフとして運営に参画したり、会場の受付係としてボランティアに参加したりと、アートを通して自分の町の魅力を再発見し、

アーティストやお客様との交流を通して人との交流を築く機会にも繋がっています。

場所自体がもつ歴史とアーティストの感性とが融合することで、町の中で光を浴びなくなった場所をもう一度蘇らせ、「もともとあるもの」、「地域の中で埋もれてしまいそうな資源」にアーティストの目線を通して再構築するということを実現しています。それは素晴らしい作品を生み出す場となり、訪れる人にとっては、アートを通してその町の歴史や人々の営みを体感することができる場ともなっているのです。そしてそれこそが、多くのお客様を惹きつけ、遠くでも行ってみたいアートイベントになり得た理由であると考えます。

今年、第5回目となる「中之条ビエンナーレ2015」が開催されます(9月12日～10月12日開催)。秋の開催に向けて、今はアーティストも住民も待ち遠しく思う日々です。



■かつての呉服店をリノベーションしたショップ



■会場の受付をする住民ボランティア



観光まちづくり最前線

No.7

地域を歩くレポート

子どもの目線で地域を知ること・地域を観ること・地域を思うこと ～少子高齢化時代に、こどもはまちづくりの貴重な戦力・担い手に…

帝京大学 経済学部 観光経営学科 大下ゼミ

若者・外者・馬鹿者が地域を元気にすると言われていました。確か小学校4年生の頃、総合学習の時間に地域の研究をしたことを思い出しました。若者の気を惹くまちづくり、それは小学生の頃から仲間入りすることが効果的では…今回は、小学生の観光まちづくりの取り組みについての研究と実践から観光まちづくりをレポートします。

■子どもの観光副読本に共通していること

『観光立国宣言』以降、総合的かつ計画的に講ずる施策の一つとして「観光地域づくりの人材の発掘と活用」が掲げられています。しかし以前より、宮崎県、沖縄県などの観光を主要産業とする地域では、小学生向けの観光副読本を作成し、郷土への理解と愛情を育てる取り組みを展開していました。

今回、観光まちづくり教育を研究する一環として、宮崎県・沖縄県の他に、長崎さるく、京都市内、天草地域等の様々な先行地域での観光まちづくりテキストを集めて分析したところ、「文字が多すぎて余白部分が少ない」「作業帳(ワークブック形式)のように自分で調べたことが書き込めない」といった観光副読本に共通した特徴がありました。読者である子どもたち、あるいは子どもたちに近い年齢の学生たちの声が反映されていないと感じられました。

■いろはカルタをツールにまちづくり観光読本の企画に挑戦(千葉県香取市佐原)

本情報誌に度々紹介されている千葉県の佐原で子ども向けのまちづくり観光読本を作成しようとしていたと聞き、私たちの目線で何か企画ができないかを考えることにしました。佐原では、群馬県内では当たり前となっている「地域カルタ」を作られたばかりでした。そこで、この「佐原いろはカルタ」を題材に、物語的に観光読本を構成・企画しました。

佐原に住んでいる祖父母を訪ねていった姉と弟が、近くの観福寺の森で一枚のかるたを拾う。拾い上げた途端、「Dr.しげ」という物知り博士の妖精が登場し地域の魅力を伝授。姉弟はまちなかを巡り、落ちていた「地域かるた」から様々なことを知るといった内容です。漫画とかるたで佐原の情報を伝え、自ら調べた内容も書き加えることで、分かりやすく、そして興味をもって主体的に冊子を読み進めるという形式～自分たちが子どもの頃を思い出して、こんな副読本だったらもっと勉強したであろうの反省を、観光読本に盛り込み提案することに努めました。



佐原いろはカルタをヒントを得て、子どもが興味をもつまちづくり観光読本づくりに取り組みました。



沖縄県の観光学習教材の表紙は「ホエールウォッチング」



■地域に関心をもつイベントの開催～プラバンでオリジナルキーホルダーづくり(千葉県多古町)

観光読本を片手に関連したまちなかでのお宝発見イベントも企画していましたが、その実現までは至りませんでした。しかし、佐原(香取市)に隣接した多古町で、空き店舗を利用した子ども向けのイベントを企画・実践しました。

多古町はアジサイで有名な町です。梅雨の時期になると美しいアジサイが咲き誇り、訪れる人々に感動を与えています。町では「あじさい祭り」というイベントを毎年開催しており、私たちはそのあじさい祭りで、子どもたちが参加することを目的とした、プラバンでオリジナルのキーホルダーを手作りできるお店を開き、町おこしに参加しました。子どもに興味をもってもらうため、プラバンに自由な絵を書いてもらいましたが、アジサイなどの多古町にゆかりのある絵を描いてキーホルダーにしたら、もっと自分たちの町に愛着をもてるなと思いました…アジサイはちょっと難しいかな？



子どもの目線で一緒にプラバンでお絵かきを指導??、というより一緒に楽しみました!!

子どもからの観光まちづくり。少子高齢化の時代に大切なまちづくりの担い手になると思います。そこで大切なことは、大人の常識を押し付けないことではないでしょうか。探検感覚、ゲーム感覚の中で、いつのまにか地域のことを知る～そんな子どものまちづくりは、子どもに比較的近い大学生や高校生のアイデアの中にもあると思っています。

(© Yamaneko⇒[本渡由真+YDK]⇒佐藤(英)TEAM)



先進商業まちづくり講座ー集客力がアップする町と店の魅力づくりーに参加しました

群馬県 都市計画課 まちづくり室 企画推進係

平成27年度3月11日(水)、商工会議所の方や商店街組合の方々に混じって、『先進商業まちづくり講座』に参加してきました。「商店街づくりをするうえで大切なのは“ホスピタリティ(おもてなしの心)”を表現することである。」を提唱している、東京大学アジア生物資源環境研究センターの堀繁教授を講師に迎え、先生が「日本でNo.1の商店街」とおっしゃる、神奈川県横浜市の「元町ショッピングストリート」を中心に、いくつかの商店街を見学しながら、堀先生にまち歩きのポイントを教えてくださいました。

堀先生からのお話を以下にまとめます。

★商店街がにぎわうと、まちが元気になる(若者が集まる)。←商店街がにぎわうためには、店を儲けさせる必要があります。

一見、店が儲かることは行政には無関係なように感じますが、『店が儲かること』は『まちに賑わいをもたらす』ことに繋がるので、『行政に関係ないこと』ではないということが分かります。

では、どうやったら店が儲かるのでしょうか？

まず「店を儲けさせるために必要な要素は何か」がわかる2つの式を紹介致します。

『店の売り上げ = 客数 × 客単価』

『一軒の店の客数 = 来街者数 × 立寄り率 × 購買者率』

これらの2式から、何が言いたいかといいますと、店を儲けさせる(売り上げ上昇)のためには、来街者数・立寄り率・購買者率を上げればよいということです。

儲かる店づくり、賑わいのある商店街づくりには、次の3つのポイントをおさえる必要があります。

【ポイント1】通りを魅力的にする。

●舗装の材料は5種類(5色)以上を使うこと、模様を工夫し魅力的な通りにすることが大切！

手の込んだ舗装は“おもてなし”表現になる。

●店前の舗装とサクラづくりが大切！

サクラとは、通行人の邪魔にならないよう店前に設置したベンチに腰掛ける人。

【ポイント2】店の外観を魅力的にする。

●通行人は目線の高さより低いところを見て、その商店街を判断するため、目線より下の空間作りを工夫することが大切！

お金をかけるなら、目線より下に！目線より上のものには「見下されている」ように感じる。

●店前に置く三種の神器が大切！

挨拶の装置…(こんにちは)花鉢、植物

迎客の装置…(いらっしやい)のれん、照明、ベンチ、木のドア、日除け

集客の装置…(食べてって、買ってって)メニュー、商品サンプル、看板

※量のバランスは、挨拶2：迎客3：集客1が最適。

【ポイント3】店の雰囲気を魅力的にする。

●“ようこそ。いらっしやいませ。”の気持ちを表現することが大切！

歓迎表現の仕方ー客の目線より下の照明を明るくする。

ー壁を極力見せないようなディスプレイにする。(壁は拒絶の力が強い)

ー商品を立てかけて置くことで、見える面積を大きくする。

以上のポイントを踏まえて、町の商店街を見てみてください。いつも違った見方ができるのではないのでしょうか。



元町通りの様子



ポイント1
【元町通り商店街】
店舗前に設置したベンチは、通行人の支障にならないようなスペースを確保している。
ベンチに座っている本人は、休憩しているだけのつもりでも、実はお店の“サクラ”としての役割も果たしている。



ポイント2
【元町通り商店街】
店舗は寒くてもお店のドアを開け放ち、お客さんを歓迎している。

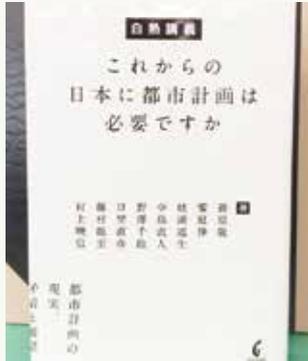




マーチィ's ROOM

マーチィに訊け!

まちづくりライブラリーからおすすめの一冊 県都市計画課で貸し出しできます!
『白熱講義 これからの日本に都市計画は必要ですか 蓑原敬ほか7名 共著 (学芸出版社)』



今号のおすすめ
ライブラリー
こちら!



この本は、「都市計画とは何か」という本質的な問題について、8名の著者による問いと議論の応酬をライブ形式でまとめた内容になっています。

著者は、国内外の都市計画に詳しい蓑原敬先生と、気鋭の若手研究者7名によって構成され、「都市計画にマスタープランは必要か?」「コンパクトシティは暮らしやすい街になるか?」など、都市計画の原論に立ち返った問題に対して、専門家の幅広い知見に基づく議論が展開されています。

この本は、都市計画に関する多くの「問い」を通じて、都市のあるべき姿を考えさせられると同時に、都市計画の奥深さと面白さを堪能できる一冊となっています。

マーチィ VOICE

●ファシリテーターの紹介●

太田市 市街地整備課 高田 直樹



高田 直樹さん

私は平成25年度の群馬県主催パートナーネットワーク講座を受講し、群馬県まちづくりファシリテーターに認定していただきました。本講座では、実際にまちを歩き、地域の潜在的な問題点を発見する眼を養い、問題について体系的に捉えていくという非常に創造的な思考を学びました。グループとして問題について取りまとめ、段階を踏んで思考を掘り下げ、課題解消への方向性を検討していく作業の難解さを痛切に実感しました。ただ、そうした話し合いにおいても、ファシリテーターが効果的に作用することで、グループとしての力を最大限に引き出し、限られた時間の中でも、最大効果を発揮することができるということがよく分かりました。

昨今の土地区画整理事業を取り巻く環境は大きく変化しており、太田市の土地区画整理事業においても事業の長期化等の問題が懸念されている地区があり、柔軟な対応が求められています。こうした状況下で今後の事業の進捗においては、地域の現状を踏まえた土地区画整理事業の見直し等の検討課題もあり、これまで以上に、地元地域の皆様への情報提供に努めるとともに、地域の皆様とよく話し合い、ご要望に応じていく機会も増えてくると思われれます。そうした際には、ファシリテーターとしてはまだまだ力不足ですが、本講座で学んだ様々な経験やファシリテーションの技術を活かし、地域の皆様と協働し、事業の早期完了を図り、より良い事業にしていきたいと思っております。講師の木下先生、アシスタントの滝沢さん、受講生の皆様、事務局の皆様には本当にお世話になりました。魅力的な皆様方と受講ができ、大変勉強になりました。ありがとうございました。



講座の様子



講座の様子

マーチィの掲示板

県・市町村人事交流を終えて・・・

高野 健一 (桐生市→群馬県都市計画課都市計画係)

平成26年4月より人事交流職員として県都市計画課に配属され一年が経ちました。

都市計画への所属は初めてのため、不安ではありましたが、課の皆様のおかげで無事終えることが出来ました。

業務では、景観や屋外広告物に関する基礎的な知識、他県や市町村の取り組み状況、県の立場での国や市町村との関わり合いなど、県で無ければ味わえない経験をさせていただきました。

今後は桐生市に戻りましても、この一年で学んだことを活かせるよう頑張りたいと思います。大変にお世話になりました。

柴田 直人 (吉岡町→群馬県都市計画課都市計画係)

平成26年4月から始まった人事交流研修も、今思えばあっという間に過ぎていった1年でした。勤務初日は1年って長いなと思い、緊張して通勤したことを思い出します。

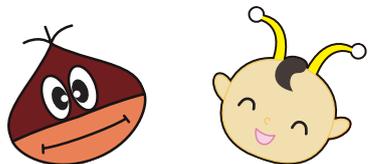
配属された都市計画課のみなさんには、右も左も分からない自分の面倒を見ていただきました。また各市町村のご担当者さまにおかれましては、ご多用の折、照会等にご対応いただきました。みなさんのお力添えがあって、1年業務をこなせました。この場をお借りしまして、お礼申し上げます。

今年1年で培いました経験、知識及び繋がりを今後も大切にしていきたいです。また微力ではありますが、更なる吉岡町の発展に役立てるよう業務にあたりたいと思います。

今後も皆様とは、会議等でお会いするかと思いますので、よろしく願います。



まちづくり イベント情報



鶴生田川親水大作戦

まちなかを流れる鶴生田川の親水性を高めるため、鶴生田川沿いのプランターの花を植え替え、ボートで川下りを行います。是非お越しください。

■ 5月16日(土)9:00～12:00

■ 館林市立南幼稚園

【お問い合わせ先】

館林市市民協働課

(内線：686)

Tel 0276-72-4111



下町夜市

まちなかの活性化や商業者の育成を目的に行われる「下町夜市」。様々な料理やイベントを楽しむことができます。ぜひお越しください。

■ 5月16日(土)、6月20日(土) 18:00～21:00

■ 館林市下町通り商店街

【お問い合わせ先】

館林市下町通り商店街

振興組合

Tel 0276-73-6230



ぐんま暮らし相談会

群馬県主催の移住相談会に桐生市も参加します。桐生市に住みたいという方、田舎暮らしをしてみたいという方、移住はまだ検討中だけど桐生がどんなところか知りたいという方もお気軽にお越しください!「きりゅうに暮らす」ということを考えてみませんか?

■ 5月27日(水) 13:00～18:00

■ ぐんま総合情報センター

(ぐんまちゃん家)

【お問い合わせ先】

桐生市都市整備部空き家

対策室定住促進係

Tel 0277-46-1111

(内線367)



地域の宝を掘り起こす! 観光事業支援

Salvage

まちづくりラボ・サルベージ株式会社

- ・観光事業支援・イベント企画・運営支援
- ・特産品を活かした商品、メニュー開発
- ・ご当地グルメ開発・店舗運営支援 他

ひのじゃがカフェ FB ページ

* 東京都檜原村特産品のじゃがいもを活用した新メニュー「ジャガチー」
@ 檜原村「ひのじゃがカフェ」

おいぬめし(檜原村ご購)FB

TEIKYO

帝京大学 観光経営学科

Department of Tourism Management

2015年八王子キャンパスに地下2階地上22階の新校舎棟が誕生します。

学際的的教養、豊かな国際感覚
確かな専門知識をあわせ持った
人材を育成します

- ・観光産業を経済学、経営学の流れの中で学ぶ。
- ・「旅行業務取扱管理者」資格取得に向けて、万全のフォロー体制。
- ・実地で旅行業務が学べる「実習授業」が豊富。

八王子キャンパス
オープンキャンパス
2015 日程

6月14日・7月12日・8月2日
8月23日・9月27日・10月17日

マーチの独り言



～藤岡市への派遣から帰ってきました～

みなさま、こんにちは。前のまちづくり推進係長の木村と申します。

ご存じの方も多いかと思いますが、まち推係では土地区画整理事業に関して市町村の方々からの相談や国とのパイプ役などを行っています。

しかしながら、県が実施している土地区画整理事業は無いものですから、法律や基準などについて日々勉強しているものの、事業の実務経験が乏しいのが実情です。そのような中、たまたま派遣でお世話になった藤岡市において、2つの組合土地区画整理事業の立ち上げに関わることができ、改めて都市基盤整備の必要性や事業の進め方を多少なりとも勉強することができました。

現在、既成市街地の都市基盤整備が遅れている地区では、人口減少などに伴い未利用地や空き家が目立ってきている地区が見受けられます。しかしながら、こういった地区はぐんま「まちづくり」ビジョンで掲げるまちの核となる場所でもあるので、今がチャンスととらえて民間と連携した土地区画整理事業で基盤整備を進め、人を呼び込む起爆剤にはどうでしょうか!

4月からは下水環境課でお世話になっておりますが、今後ともよろしくお願いたします。

有料広告を随時募集しています。詳細につきましては、下記のお問い合わせ先まで、お気軽にご連絡下さい。

【お問い合わせ先】

群馬県県土整備部都市計画課まちづくり室(企画推進係) TEL 027-226-3665 URL <http://www.pref.gunma.jp/06/h5810001.html>